

七ヶ宿ダムの洪水調節効果(速報)

～ 低気圧に伴う出水での七ヶ宿ダムによる効果 ～

4月18日～19日の低気圧による降雨に伴う出水は、春一番の規模でダムに流れ込む水の量が1秒間で503.6立方メートルにまで達し、七ヶ宿ダムの管理史上第5番目の出水となりました。

七ヶ宿ダムでは、今回の出水においてダム下流に流す水の量を最大流入量時約380m³/sの調節を行い、合計で約730万立方メートルの水を貯め込みました。

○ダム下流の河川水位の上昇を緩和

阿武隈川下流白石川 白石水位観測所地点での河川水位を約0.9m低減することが出来たと推定されます。

(参考) 七ヶ宿ダムにおける
出水(流入量)規模順位

	年月日(原因)	流入量
第1位	H14. 7. 11(台風6号)	620m ³ /s
第2位	H 5. 8. 27(台風11号)	541m ³ /s
第3位	R01. 10. 12(台風19号)	518m ³ /s
第4位	H26. 7. 10(台風8号)	506m ³ /s
第5位	R 2. 4. 19(低気圧)	503m ³ /s(※今回)

<発表記者会: 仙南記者クラブ>

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 七ヶ宿ダム管理所

TEL 0224-37-2122 FAX 0224-37-2471

ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/shichika/>

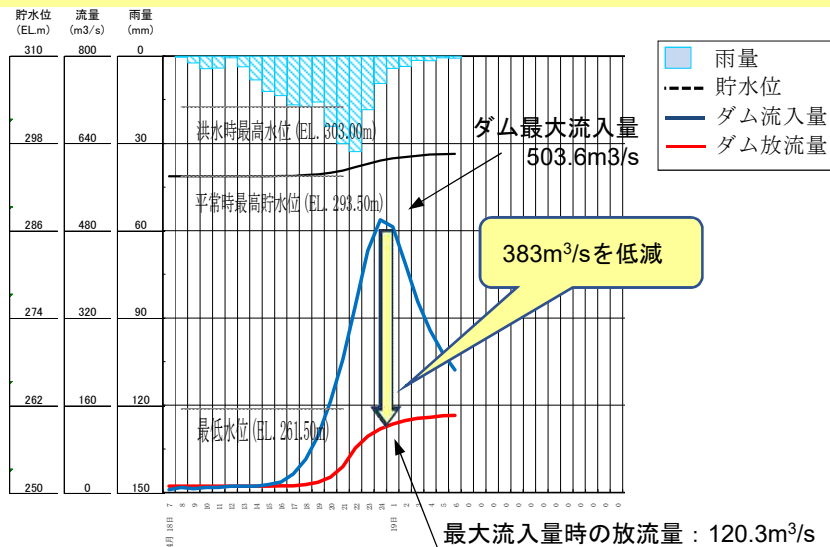
管理所长 たかはし はじめ 高橋 一 (内線201)

専門職 たかはし よしたか 高橋 義孝 (内線330)

低気圧出水における七ヶ宿ダムの効果（令和2年4月18日）

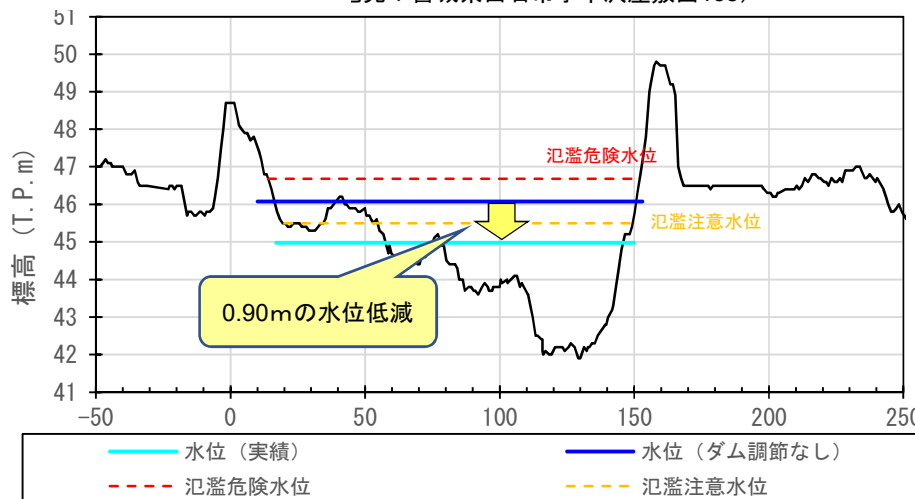
- 4月17日からの低気圧による降雨により、七ヶ宿ダム上流域の平均累計雨量(18日7時～)は151.6mmに、**最大流入量は1秒間に503.6立方メートル（管理開始以降第5位・非洪水期2位）、貯水位296.62m（管理開始以降第2位）に達しました。**
 - 今回の出水においては、**ダム下流に流す水の量を最大流入量時約380m³/sの調節をおこない、下流の白石市内（白石水位観測所：同市半沢屋敷）で水位をピークで0.90m低減したことにより、白石川では氾濫注意水位を超過せず水位低下の効果があったものと推測されます。**
- ※七ヶ宿ダム 非洪水期：6/10～10/11

【位置図】



【白石水位観測所】

址先：宮城県白石市字半沢屋敷西138)



※流量は白石観測所のHQ式を適用し算出した。
 ※横断面は観測所最近傍の河道断面を採用しました。

【ダム貯水池の出水状況】

